

岐阜市型コミュニティ・スクール

岐阜市では、これまでも保護者や地域の方々のご協力を得て、ゲストティーチャーとしての授業参加、登下校時の見守り活動の実施、学校内外の環境整備など、各小・中学校、特別支援学校、幼稚園等の教育活動の充実や子どもたちの安全・安心につながる取組を進めてきました。

こうした取組を基盤とし、地域にある豊かな社会資本の活用を進め、今ある活動をより組織的・継続的に取り組む体制を整えようと、平成20年度より学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用し指定を進めてきました。

コミュニティ・スクールとは

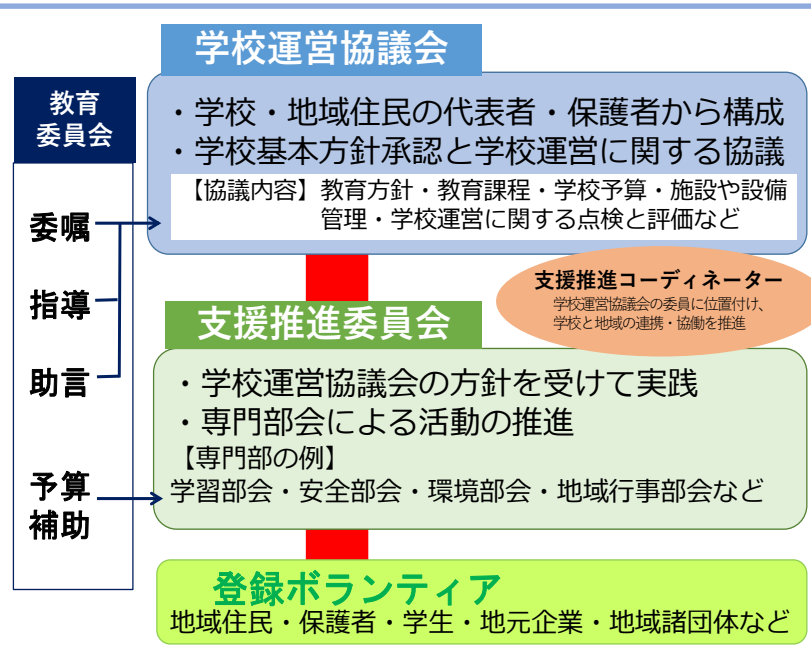
学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりといった取組が行われます。

岐阜市型コミュニティ・スクールの概要

■これまでの歩み 市立の全学校、園のCS化

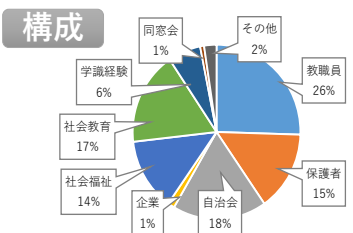
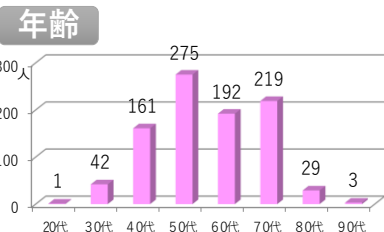
- H20年度 コミュニティ・スクール（CS）指定 開始
- ～H27年度 市立の小中学校（小4 6校、中2 2校）、市立特別支援学校（1校）CS化
- H30年度 市立幼稚園（2園）、市立高等学校（1校）CS化
- R3年度 市立中学校（1校）CS化

■岐阜市型コミュニティ・スクールの取組



■学校運営協議会委員

人数 73校（園）922人
1校あたり 12人



【豊かに関わる地域の大人たち】
学校医・住職・地元企業経営者・消防団・高等学校教職員・大学教授・スポーツ少年団長・地域福祉施設長など